

重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。											
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)											
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ④耐用年数の長い外装材を採用している。 ④耐用年数の長い内装材を採用している。 ④主要な配管材料は耐用年数に配慮した計画としている。	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能				
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備				
				3.2	3.2.2	③	昼光制御				
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔				
				2.2.2		④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
				2.2.3		④	配管・配線材の更新必要間隔				
				2.2.4		④	主要設備機器の更新必要間隔				
		■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出			
				3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上			
		■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨高効率な照明器具を採用している。	LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制			
			2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用				
				2.2		⑧	自然エネルギー変換利用				
			3			⑨	設備システムの高効率化				
			4	4.1		⑩	モニタリング				
				4.2		⑩	運用管理体制				
		■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪省水型の節水器具を全体の過半に採用している。 ⑫OAフロアや解体の容易なLGS壁工法を採用。	LR-2	1	1.1		⑪	節水			
					1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム			
						1.2.2	⑪	雑排水利用システム			
			2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率				
				2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率					
				2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材				
				2.3		⑫	有害物質を含まない材料				
				2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用				
				2.5		⑫	部材の再利用可能性				
			2.6	2.6.1	⑫	消火剤					
				2.6.2	⑫	断熱材					
				2.6.3	⑫	冷媒					
		■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善			
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)										
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性				
					2.1.2	⑭	免震・制振性能				
				2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備				
				2.4.2		⑮	給排水・衛生設備				
				2.4.3		⑮	電気設備				
				2.4.4		⑮	機械・配管支持方法				
				2.4.5		⑮	通信・情報設備				
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)											
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯最も低い階高は7.40m ⑯壁長さ比:0.11	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画				
			3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり				
					3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1			⑲	地域性への配慮、快適性の向上			
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)											
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出				
			2			⑳	まちなみ景観への配慮				
			3	3.2			⑥	敷地内温熱環境の向上			
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5				⑬	温熱環境悪化の改善			